

Project Case Book

令和7年度版

事業承継推進事業 事例集

地域に根ざし、次の世代へ



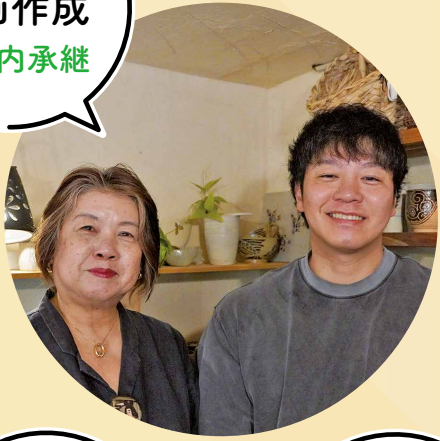
補助金
親族内承継



補助金
M&A



事業承継
計画作成
親族内承継



事業承継
計画作成
親族内承継



後継者
育成塾
親族内承継

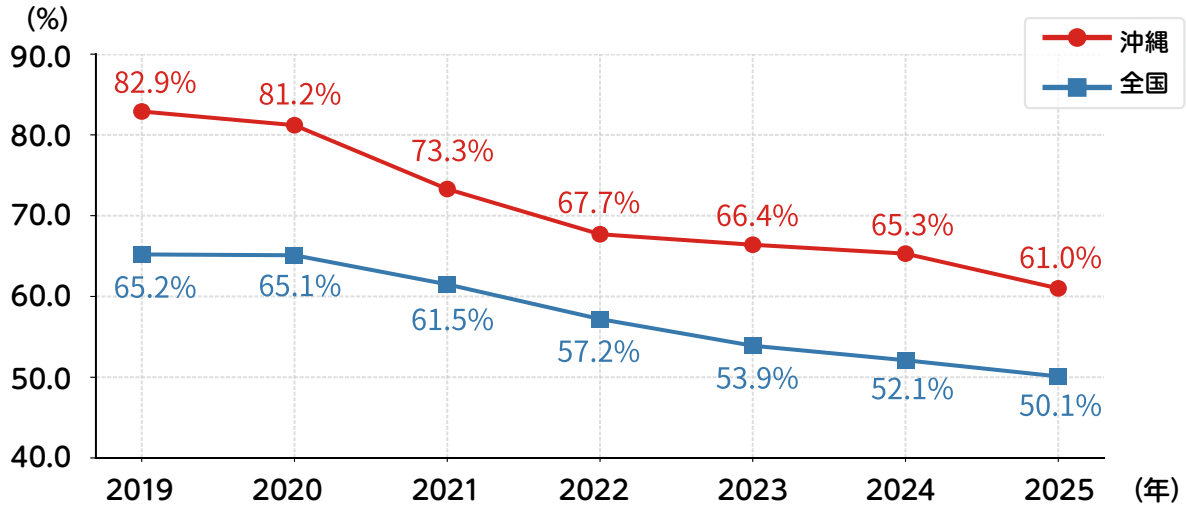


後継者
育成塾
従業員承継

県内事業承継の現状

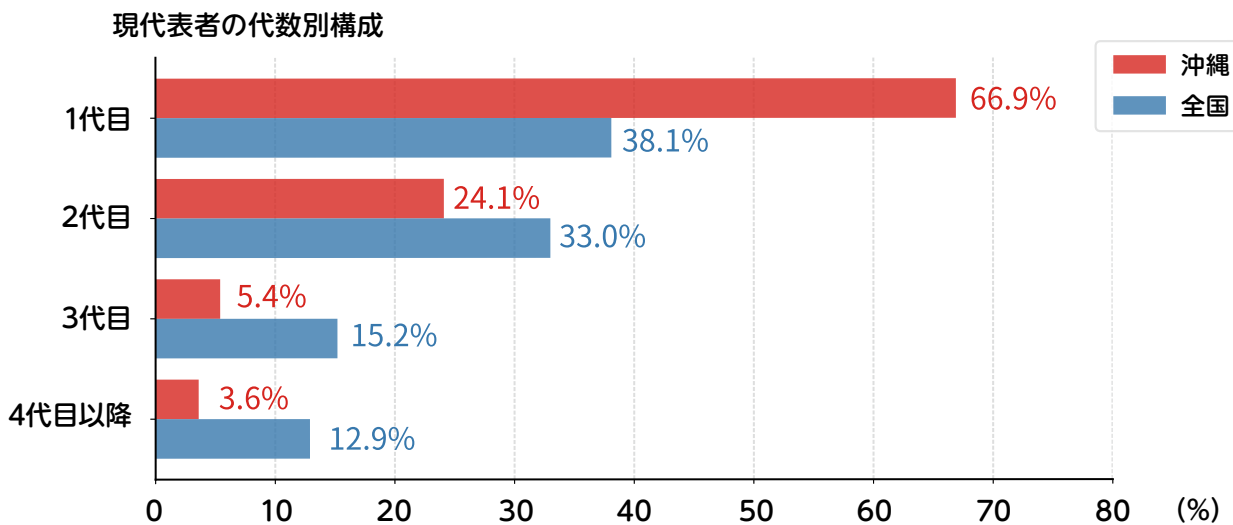
① 後継者不在率推移

出所：帝国データバンク



② 事業承継状況

出所：帝国データバンク



- ▶ 県内の後継者不在率は、2020年(81.2%)まで全国ワースト1位の状況でした。
※全国平均と比較すると毎期10ポイントの開きとなっています。
- ▶ 20年以降、後継者不在率は改善が進み25年には61.0%と、6年間で21.9ポイント減少しました(グラフ①)。
※公的支援機関のサポートと金融機関や民間会社の事業承継事業への参入が寄与しています。
- ▶ 県内の後継者不在率が高い理由として、事業承継の経験がない事業者が多いことも一因です。
※県内では、創業者が事業承継を実施する割合が70%近くを占めるのに対し、全国は約40%近くとなっています(グラフ②)。

事業承継とは

事業承継とは、現経営者から後継者へ事業のバトンタッチを行うことですが、企業がこれまで培ってきたさまざまな資産を後継者へ上手に引き継ぎ、今後の経営を安定させるために大変重要です。

人の承継

- ◆ 後継者の選定、育成
- ◆ 後継者の意思確認
- ◆ 経営権の引継ぎ



資産の承継

- ◆ 自社株式
- ◆ 事業用資産（設備・不動産等）
- ◆ 資金（運転資金等）
- ◆ 経営者保証

物

金

経営者の個人資産

知的資産の承継

- ◆ 経営理念
- ◆ 経営者の持つ信用
- ◆ 営業秘密
- ◆ 特許・ノウハウ
- ◆ 熟練工の持つ匠の技
- ◆ 得意先担当者の人脈
- ◆ 顧客情報
- ◆ 許可・認可・認証

目に見えない資産

事業承継の3つの類型

親族内承継

特徴

- 一般的に内外の関係者から受け入れられやすい。
- 家族であっても早めにアナウンスをして本人の了解を明示的とりつける取組が必要。
- 会社の所有と経営を一体的に引継ぎやすいため、早期の取組みによりスムーズな事業承継が期待できる。

従業員承継

特徴

- 業務に精通している為、他の従業員等の理解を得やすい。
- 後継者候補に株式取得等の資金力がない場合がある。
- 経営者となる覚悟を得るためには、早めのアナウンスと本人の了解を明示的とりつける取組が必要。

第三者承継 (M&A)

特徴

- 身近に後継者として、適任者がいない場合でも、広く候補者を外部に求めることができる。
- 従業員の雇用や取引先との関係を継続できる。
- 現経営者が会社売却の利益を獲得でき、リタイア後の生活資金を確保できる。

事業承継を成功させるポイントとは？

予め引退の時期を決めて
早めに動き始める

事業承継の専門家に
相談する

関係者(家族、従業員、等)
のことも考えて検討する



ハッピーリタイアに繋がる



事業承継推進事業の3つの支援メニュー

01 『事業承継計画作成支援』

- ◆事業承継に取り組む事業者の計画作成を支援！
 - ◆公社専門コーディネーターまたは外部専門家が支援！
- ※補助金の申請において、策定が必須（親族・従業員）



事業承継 推進事業



02 『事業承継補助金』

- ◆今後5年以内に事業承継に取り組む現経営者の費用を支援！
- ◆承継補助上限額：100万円、補助率：2/3を支援！

03 『後継者育成支援』

- ◆後継者を育成するための『後継者育成塾』を開催！
- ◆実践的な経営知識の育成
(期間：8月～翌年1月、講義数：11回)

事業承継計画作成支援

一緒に5年先、10年先の会社を考えませんか？

事業承継計画作成するメリット！

会社を引き継ぐにあたり、漠然としていた頭の中身が整理できます！

早めの税金対策（贈与税・相続税）ができます！

事業承継時に起こりうるトラブル（お金、人間関係）を未然に防ぐことができます！

取引先金融機関に協力が得られやすく、信頼関係の維持につながります！

ヒアリングの実施

窓口またはお電話にてお申込みください。公社専門相談員が訪問し現状などをヒアリングいたします。

1. 会社の概要・財務状況の確認（資産・株主状況の把握）
2. 事業の分析（SWOT分析）
3. 経営課題の整理
4. 円滑な事業承継への骨子（基本方針）

計画の作成支援

公社専門コーディネーターまたは外部専門家が貴社を訪問し、一緒に事業承継計画作成いたします。

項目	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
事業計画						
売上高	5千万円			8千万円		1億円
経常利益	5百万円			8百万円		12百万円
会社						
定款 株式 その他		相続人に対する株式の売渡請求制度活用（定款変更）	太郎の弟から自社株式取得（金庫株） 元役員から自社株式取得（金庫株）	太郎氏に退職金の支給		
年齢	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳
役職	社長			会長		相談役
関係者の理解	家族会議	社内へ計画発表	取引先・金融機関に紹介			
現職者						
後継者教育	一郎氏へ経営理念・ノウハウ・取引先ネットワーク等の自社の強みを承継					
株式・財産の分配				公正証書遺言書の作成		
持株（%）	70%	60%	50%	0%	0%	0%
	毎年贈与（暦年課税制度）			相続時精算課税制度		
後継者						
年齢	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳
役職	部長	取締役		社長		
後継者教育						
社内	製造部門・営業部門・本社管理部門のローテーション					
	太郎氏から経営理念・ノウハウ・取引先ネットワーク等の自社の強みを承継					
社外	外部の研修受講	後継者塾受講	経営革新塾	社外からの経営アドバイザーの派遣	新商品開発・経営革新等	
持株（%）	0%	10%	20%	70%	70%	70%
	毎年贈与（暦年課税制度）			相続時精算課税制度		

計画実行のサポート

事業継承補助金の活用など、事業承継がスムーズに行えるよう、サポートいたします。

01

親族内承継

株式会社糸嶺商会

目安となる計画は早い内に立てるべき!



後継者/糸嶺 篤義氏、経営者/糸嶺 篤秀氏



【企業概要】

- 事業者名/株式会社糸嶺商会
- 所在地/那覇市牧志 2-17-12
いとみね会館3F
- 業務内容/不動産賃貸管理
- 代表者名/代表取締役 糸嶺 篤秀
- 後継者/糸嶺 篤義
- 従業員数/12名(正社員9名、非常勤3名)
- 設立/1957年設立(1949年創業)
- TEL/098-867-5327
- URL/https://itomine-shokai.com/

①相談したきっかけ

後継者育成塾を卒業後、事業承継に向けて5年計画を立ててみませんかと、沖縄県産業振興公社の専門コーディネーターから提案を受け、取り組むことにしました。

②計画を作成して気づいたこと

現状把握のため株式評価を依頼し、承継にかかる費用の算出から具体的な対策まで提案していただきました。この5年計画をベースに、継続的に顧問税理士や専門家に相談しながら、臨機応変に進めることができそうです。

③支援を受けた感想

「専門家も交え、社長と承継について話し合う機会が増え、推進スピードが加速しました。前進するためにはまず、計画が必要だと実感しました」後継者(篤義氏)

「承継の計画を公にしたことで、社員それぞれが現在の職務の在り方などを見直すことができました。良い方向に動ききっかけになったと思います」経営者(篤秀氏)

02

親族内承継

土~夢ごはんカフェ

相談は早いほど効率的ですよ!



経営者/喜瀬 文子氏、後継者/喜瀬 智哉氏



【企業概要】

- 事業者名/土~夢ごはんカフェ
- 所在地/糸満市西崎町 3-16
- 業務内容/飲食、小売
- 代表者名/喜瀬 智哉
- 従業員数/6名(正社員1名、パート5名、非常勤0名)
- 創業/1995年
- TEL/090-1946-8044
- URL/https://doomu-okinawa.com/

①相談したきっかけ

具体的な進め方が分からず困っていたところ、「誰に・いつ・何を」など、事業承継の基本から税金に関する対応まで、幅広くサポートしていただける本事業を知り、まずは全体像を把握したいと思い相談しました。

②計画を作成して気づいたこと

公社専門コーディネーターと一緒に承継後も含めた5年計画を作成したことで、今後やるべきことが明確になりました。単に経営を引き継ぐだけでなく、資産整理や税金対応、各種助成金や支援制度の活用など、多岐にわたる準備が必要だということが分かり、取り組んでいます。

③支援を受けた感想

税金や制度なども丁寧に説明してもらえたため、一つ一つ理解して進めることができました。また、その過程で活用できる助成金や各種支援制度も教えていただいたので、今後の計画も、より効率的に進められそうです。

事業承継推進事業補助金について

今後 5 年以内の事業承継に取り組む県内に本社を有する中小企業者で、かつ、県内の事業所で常時雇用する従業員がいる者の事業承継に向けた取組に要する費用の一部を補助します。

事業承継補助金

- ◇親族内承継・従業員等承継を行う現経営者を支援!
- ◇第三者承継 (M&A等) を行う現経営者 (譲渡側) を支援!

補助上限額

100万円

補助率

2/3以内

交付予定件数

12件程度

支援内容 利用例

◇委託費

- ・資産価値や株式評価費用
- ・事業承継対策の立案及び提案費用
- ・経営改善のための外部専門家 (コンサルタント) 費用
- ・人事評価制度の作成費用
- ・就業規則の作成費用
- ・M&A着手金・成功報酬 など

◇外注費

- ・HP作成費用 など

◇その他

- ・知事が必要と認める経費

補助金手続きの流れ



【補助金】事業承継推進事業 公募・採択スケジュール (予定)

公募・申請受付期間

第1回 毎年5月～6月
第2回 毎年8月～9月

※最終日の申請受付時間は15時まで

交付決定予定日

第1回 毎年7月
第2回 毎年10月

※第1回の公募で予算が満額に達した場合、第2回目の公募はいたしません。

申請受付には事前相談が必須となります。

01

親族内承継

有限会社玉那覇味噌醤油

期限が設けられるので、大幅に前進しました！



後継者/大城 由美氏



【企業概要】

- 事業者名/有限会社玉那覇味噌醤油
- 所在地/那覇市首里大中町 1-41
- 業務内容/食品製造販売業
- 代表者名/大城 由美
- 従業員数/11名(正社員4名、非常勤7名)
- 設立/1995年(1858年創業)
- TEL/098-884-1972
- URL/https://www.tamanahamiso.co.jp/

① 応募したきっかけ

前代表が数年前から沖縄県産業振興公社に承継の相談をしていましたが、課題が山積みでなかなか前に進めませんでした。専門家に解決の糸口を提案してもらいたいと考え、本補助事業の応募に踏み切りました。

② 補助金の具体的な活用方法

公社専門コーディネーターに事業承継計画書の策定を依頼し、課題を整理しました。その後、親族5人が所有する事業敷地や株式について専門家に評価算定と対策を提案してもらい、親族間で前向きな協議が進んでいます。

③ 支援を受けた感想

親族間承継は、第三者の介入と専門家による提案、明確な期限を設けることが肝要だと思いました。周囲の協力や応援をいただき、170年続く家業を継ぐ覚悟ができました。次の承継者に「継ぎたい!」と言ってもらえるよう、経営を整え活性化させることが使命だと感じています。

02

M&A

ひらのや

譲受会社：株式会社岸本組

専門の方々と一緒に安心して進められました

① 応募したきっかけ

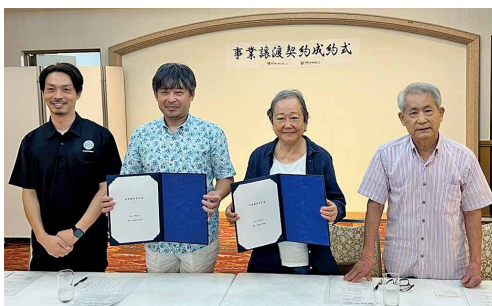
沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターが開催した事業承継の相談会に参加し、同センターの支援もありM&Aによる第三者承継を目指しました。買い手企業が決まった際に仲介会社から補助金制度を教えてくださいました。

② 補助金の具体的な活用方法

申請手続きは沖縄県産業振興公社にサポートしてもらい、スムーズに運びました。希望どおり満額交付され、M&A仲介料の一部に充てることができました。

③ 支援を受けた感想

M&Aは理想的な譲渡先を見つけるのが難しく、仲介会社に依頼することになります。費用がかかりますが、補助金のおかげで自己負担がかなり軽減されました。相談から承継までさまざまな機関にサポートしていただき、譲渡先や条件など満足のいく結果を得られました。離島でも毎月相談会が開催されているので、心強かったです。



経営者/日本そばの店「ひらのや」
代表 平野 恵子氏、店主 平野 富佐夫氏
譲受会社/株式会社岸本組 代表取締役 岸本 友宏氏



【企業概要】

- 事業者名/ひらのや
- 所在地/石垣市美崎町 13-5
- 業務内容/飲食店(日本そば)
- 代表者名/岸本 友宏
- 従業員数/7名
- 創業/1989年
- TEL/0980-82-8013

後継者育成塾について

会社を引き継ぐ予定の後継者に対し、講義や宿題を通じて実践的な経営知識を学んでいただき、経営者としての意識を高め経営に必要な思考を身に着けることを目的としています。また、講義を通じて同じ悩みをかかえる仲間と交流する機会が得られます。

同じ悩みをかかえる仲間と共に学び会社を成長させよう！

後継者育成塾 受講料無料

開催内容

- ◇事業承継に取り組む後継者の育成塾を開催します。
- ◇実践的な経営知識の教育(期間:8月～2月、月1回～2回 約半年)

◇こんな方におすすめ

- ・実践的な経営知識を学び経営の現場に活かしたい！
- ・経営に必要な思考力を身に着けたい！
- ・後継者同士の交流を促し、一生高め合う仲間を作りたい！



※親族間承継と従業員承継の企業のみが対象となります。※第三者承継(M&A)は対象外です。



おきなわ後継者交流会

◇後継ぎが後継ぎから学ぶ、貴重な学びと交流の場

- ・第一部：ゲストを迎えて基調講演
- ・第二部：交流会（名刺交換・意見交換・グループセッションなど）



01

親族内承継

有限会社やまと庭樹園

外部で学ぶと、
多くの気づきが
得られます！



経営者/大瀨 俊士氏、後継者/大瀨 俊晴氏



【企業概要】

- 事業者名/有限会社やまと庭樹園
- 所在地/石垣市字平得 122-4
- 業務内容/造園、土木（庭作り・剪定等）
- 代表者名/大瀨 俊士
- 後継者/大瀨 俊晴
- 従業員数/9名
- 設立/1990年5月
- TEL/0980-82-3111
- URL/<https://home.tsuku2.jp/store/Detail.php?scd=0000291741>

①応募したきっかけ

家業を継ぐ立場として、流されるのではなく自分の意思と覚悟を持って舵を取りたい、と思っていました。現社長の想いを受け取りつつ、自分なりの視点も持つためには、独学や経験だけでは足りないと感じ、受講しました。

②受講して勉強になったこと

一番の学びは、経営を“感覚”ではなく“言葉と数字”で捉える視点を持てたこと。石垣島という地域性の中で、暮らし・自然環境・観光との向き合い方を考えるきっかけにもなりました。また、他業種の後継者との意見交換はとても刺激的で、自社事業を客観的に見直すこともでき、頭の中の庭を剪定してもらったような感覚です。

③後継者育成塾の感想

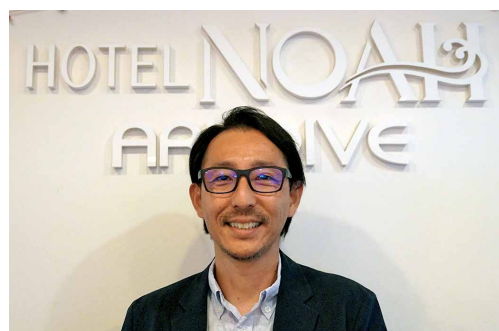
後継者という立場は身近な人ほど相談しにくいものですが、この塾では業種も立場も関係なく、本音で語り合うことができました。知識を得て、考えや覚悟の整理もできたことは、事業を続けていく上での大きな財産です。

02

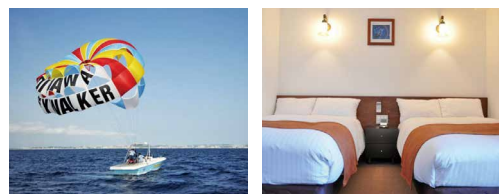
従業員承継

SWELL株式会社

毎回の宿題は
大変だけど、
貴重な経験
でした



後継者/西尾 洋祐氏



①応募したきっかけ

実務は全て引き継ぎいでいましたが、経営権などその先を具体的に進められず、事業承継補助金を活用するため沖縄県産業振興公社を訪ねました。事業承継を進める過程で、担当者より後継者育成塾をご紹介いただきました。

②受講して勉強になったこと

毎回の宿題に取り組む中で、改めて会社の実態を見つめ直し、整理・可視化できたことが最大の成果です。また、創業者の事業拡大の際の心情などを知ることもでき、承継する立場として貴重な糧となりました。

③後継者育成塾の感想

業務時間を使って参加する以上しっかりと成果を得たいと考え、講義も宿題も全力で取り組んだので、成長を実感することができました。また、異業種の方々との交流を通じて新たな視点を得られただけでなく、実際に取引先をご紹介いただくなど、良いご縁が広がっています。

【企業概要】

- 事業者名/SWELL株式会社
- 所在地/宜野湾市真志喜三丁目 31-8
- 業務内容/観光業
(マリンレジャー業・宿泊業・飲食業)
- 代表者名/西尾 洋祐
- 従業員数/49名(正社員21名、非常勤24名)
- 設立/2005年1月25日
- TEL/098-897-1234
- URL/<https://arkdive.com>

この事例集に関するお問合せ



公益財団法人

沖縄県産業振興公社

Okinawa Industry Promotion Public Corporation

経営支援部 事業支援課 事業承継推進事業(沖縄県委託事業)

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター4階

TEL:(098)859-6236 FAX:(098)859-6233

E-mail :shoukei@okinawa-ric.or.jp



公社 事業承継

検索



沖縄県

商工労働部 中小企業支援課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階

TEL:(098)866-2343 FAX:(098)861-4661

